

令和5年度 第3回 清瀬市環境審議会 会議録（要旨）

日程：令和6年1月25日（木）

時間：午前10時から

場所：市役所 4階 研修室

出席委員：江口委員、渡邊委員、服部委員、松本委員、村野委員、宮澤委員、
福山委員、大槻委員、小川委員

事務局：高見澤 市民環境部長、野中 環境政策係長、山越

受託業者：NTT データ経営研究所 村岡様、河野様

オブザーバー：清瀬商工会 芦澤事務局長

〈会議次第〉

1 開 会

2 議 題

- (1) 清瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について
- (2) その他

〈配布資料〉

- ・ 清瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）
- ・ 清瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案に対して提出された
意見等の概要及び意見に対する市の考え方（案）
- ・ 清瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）概要版

《議事内容》

1 開会

2 議題

(1) 清瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

資料

清瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）資料

～事務局より清瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について説明～

《以下、意見及び質疑》

【委員】

28 ページの表 3.4 の削減イメージを 16 ページの表 2.2 の様に部門ごとに分類して示せないか。

【事務局】

各施策が複数の属性を持ち、複合的な効果を生むことから、具体的にどの施策がどこの部門から減る等の計算ができないため、分類ごとに示すのは難しい。

【委員】

新しい道路の開通やトラックの増加などで交通量が増えることが考えられるが、BAU ケースの運輸部門の自動車の数値が減っているのはなぜか。

【受託業者】

国の推計方法として、自動車は、国の登録台数をベースに推計しており、登録した場所の車両の登録数で按分された排出量が計上されるため、道路の増減は考慮されない。また、減少については人口推移等によるものである。一台一台の走行内容を把握することは難しいため、当市では、この国に示された推計方法を用いることとしており、他市も同様に行っていると考えている。

【委員】

分かりやすい内容でこの内容を徹底できれば、実現可能となる。緑についても吸収と合わせて他の役割について表現されていて良いと思う。あとは、これをどうやって広げていくかが重要と考える。

【委員】

市民・事業者・市の区分については、どういう区分けを考えているのか。市民の代表が居て、そこに知らせるということか。

【事務局】

各主体の役割を具体的に示しているものである。市も行動するが、市民も 1 人ひとりが自発的に動くことを示しており、しっかり周知を行っていく。

【委員】

充電スポットの普及については、国の方でも行ってもらわないと難しいのではないか。

【委員】

事業者においても、ショッピングセンター等で設置していただければと思う。

【事務局】

充電スポットの普及については、国や都に要望しつつ、市、事業者でも進めていきたい。

【委員】

緑化活動においては市民参加が少ないため、更なる市の協力もお願いしたい。

【委員】

学校へ環境のことについて教えに行くことがあるが、子ども達はすごく勉強していると感じた。教育委員会とも連携し、もっと若い世代に環境について学習を進めたい。

【委員】

市には市民の活動の受け皿となるところはあるのか？

【事務局】

各事業所管理が基本となるが、市民協働課や学校内部にも受け皿は存在する。もっと周知はしていきたいと考えている。

【委員】

市や事業者の中に、もっと環境教育に関して働きかけをできる人材がいた方が良いと思う。そのためにももっと勉強する必要がある。

【委員】

この計画のPDCAについては、各論の部分でいろんな意見が出ると思う。環境審議会での議論する内容について、もう少し明確に絞ると意見もより纏まると思う。

【委員】

今後の環境審議会において審議する内容を限定することは良いと思う。

【委員】

市報を活用するなどして、将来像をもっと発表していければいいと思う。

【委員】

進捗状況等をもっと周知した方が良いと思う。

【委員】

情報発信が一番大事である。また、ボランティアも含め市民を巻き込む取り組みを行ってほしい。

【委員】

計画については、いいものであるが、実行できるかどうか問題である。PDCAを意識して回していくシステムが必要であると思う。そのために、環境審議会でも適切にPDCAを回していきたい。そのためには、審議内容について論点を絞る必要もあると考える。

【委員】

特に市民が行う取り組みについてPDCAを回す方法をしっかり検討しないといけない。

(2) その他

～事務局より来年度の環境審議会について説明～